

## ネブラスカ州：小麦作柄と気象状況

2005年6月14日

2005年6月12日現在：

6月12日に終わる1週間のネブラスカ州の気象は、降雨を伴った不安定な気象であった。平均気温はNW地区では平年を4～6度F下回り、SC及びSEでは平年を1～2度F上回った。SW地区では2～3度F平年を下回った。最高気温は殆どの観測所にて90度を多少下回った。1週間の降水量は、NW地区では0.16～1.69インチ、SW地区では0.54～2.37インチ、NE地区が多く1.38～2.23インチであった。

1週間の州平均農作業稼働日数は2.9日（前週：2.7日）であり、2週続き農作業が中断した。土壌水分は、Topsoil並びにSubsoil共に“適”から“過多”になる圃場が出現した。

冬小麦の93%が出穂し、登熟は20%が登熟期に入った。天候不順の為成熟は昨年並びに5年平均より大幅に遅れる結果となった。作柄は前週より多少評価が上がったが、小麦の正常な登熟、単収増の為今後の気温の上昇が望まれた。

6月1日USDA発表の6月1日付け冬小麦生産量予想では、単位収量は43.0bushels/acrであり、5月1日予想より2.0bu/ac少なくなった。登熟期に入ってから連続した低温・湿潤がマイナス要因となったと思える。詳細は別表の通り。

2005年4月1日～6月12日の降水量：

	NW	NC	NE	CEN	EC	SW	SC	SE
This week	0.53	2.76	1.53	1.36	1.21	1.11	1.59	1.65
Total since 1/4/05	8.02	14.13	12.16	11.34	10.32	7.44	8.66	9.51
Normal since 1/4	5.96	6.86	8.11	7.68	8.56	6.65	7.43	8.58
Total as % of normal	135%	206%	150%	147%	120%	112%	116%	111%

土壌水分：2005年6月12日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Yr Ave.
Topsoil				
Very Short (%)	0	0	27	21
Short (%)	3	6	30	26
Adequate (%)	81	88	40	51
Surplus (%)	16	6	3	2
Subsoil				
Very Short (%)	2	2	47	28
Short (%)	14	14	24	28
Adequate (%)	81	82	28	44
Surplus (%)	3	2	0	0

小麦の生育状況：2005年6月12日現在

	This Week	Last Week	Last year	5-Yr Ave.
Headed (%)	93	78	98	92

Turning (%)	20	4	52	37
-------------	----	---	----	----

小麦作柄状況：2005年6月12日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This Week (%)	7	16	33	36	8
Last week (%)	5	15	37	36	7

Source: Nebraska Agriculture Statistics Service, USDA

6月1日付けUSDA冬小麦生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
May 1				June 1			
NE	1,650	1,700	37.0	45.0	43.0	61,050	73,100
USA	34,462	35,069	43.5	45.4	44.1	1,499,434	1,545,971

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃：Email [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)